

人権が尊重された雰囲気づくり

次のページからは、人権に関するワークショップの教材として、「外国人の人権問題」「障害者の人権問題」「災害に伴う人権問題」の三つの学習プログラムを掲載しています。どの学習プログラムでも共通して取り組むべきことが、人権が尊重された雰囲気づくりです。

ファシリテーターが、学習者も雰囲気づくりに加わるようにはたらきかけることで、ワークショップのねらいの達成につながるほか、学習者の人権感覚が磨かれることが期待できます。

学習を開始する際は、「尊重」、「参加」、「守秘」の三つの視点から、次の声掛け例を参考にして学習者とルールを確認しましょう。

尊重

互いの考え方や感じ方を尊重しましょう

- 相手の意見・自分の気持ちに耳を傾けてみましょう。
- 相手の発言を否定したり、自分の意見を押しつけたりしないようにしましょう。
- 一人で話しすぎないようにしましょう。

参加

プログラムに積極的に参加しましょう

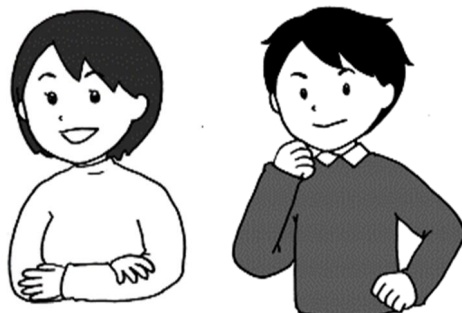
- 参加者一人一人が、積極的に参加するよう心掛けましょう。
- 発言は強制ではありません。聞いているだけでも十分参加していることになります。

守秘

参加者の個人情報を持ち帰らないようにしましょう

- 学習者が本音で話す内容には、個人情報が含まれる場合があります。お互いに「守秘」の約束を確認することで、安心して話ができる環境を一緒につくりましょう。

人権が尊重された雰囲気や環境づくりは、人権に関する学習だけでなく、どんな講座でも実践することが大切ですね。



次のページ以降のプログラムを実践する際も、雰囲気づくりを最初に行うことを忘れないようにしましょうと思います。